

「オール新潟による『次世代医療人』の養成」プログラム 3 大学ミーティングを開催しました

1CG1 1F1 1CD1 1D1

1

当院病院長の鈴木栄一先生の開会の辞の後、当院経営企画課長の菊池より1
『医療研究人材養成拠点形成事業』について説明をさせていただきました。菊池課長は昨年度の3月まで文部科学省高等教育局医学教育課課長を務めており、この事業の立ち上げに直接かかわっておりました。これからの超高齢社会を見据えて総合診療の充実を図ってきたが、医師への過重等々、なかなかうまく機能せずにはいました。そこで、国民が将来にわたって安心して医療を受けられる環境を構築するため、各大学が理念や強み、特色、地域性等を活かして、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できるリサーチマインドを持ったすぐれた総合診療医等を養成することを目的に、この事業は発案されたそうです。



1



1

福祉

1

その後、新潟医療福祉大学言語聴覚学科教授の山岸達弥先生、同大学義肢装具自立支援科教授の真柄彰先生、新潟薬科大学薬学部長の杉原多公通先生からご挨拶をいただき、意見交換では、トータルヘルスケアワークショップ・フィールドワークへの学生参加へのご協力以外、当プログラムのアドバンスコースへの大学院生の参加、プログラム主催の研究会・イベントへのご協力など、多方面で3大学が協力していくというコンセンサスを得ることができました。

来年度には事業の中間評価があるということで、これからますます事業の成果を見据えた活動をしていきたいと思えます。

